

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	エコツーリズム総合推進事業費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～		担当課室	総務課自然ふれあい推進室		室長 堀上 勝		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-5 自然とのふれあいの推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	エコツーリズム推進法 § 4～7、11～17		関係する計画、通知等	エコツーリズム推進基本方針 生物多様性国家戦略2012-2020				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	エコツーリズム推進法の基本理念(①自然環境への配慮、②観光振興への寄与、③地域振興への寄与、④環境教育への活用)を踏まえた地域におけるエコツーリズムの一層の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズムの普及・定着のため地域協議会等への技術的な助言や指導等を行う。 ・エコツーリズムに関し、国民の理解を深めるため、先進事例の収集や広報活動等(エコツーリズム大賞、各種イベント・HPIによる情報提供等)を行う。 ・自然観光資源の保全及び地域活性化のため、エコツーリズム推進に伴う自然観光資源への影響調査や利用コントロール手法の検討及び関係省庁の施策と連携したモデル事業等を行う。 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	125.6	0.0	29.6	22.4	32.4	
		補正予算	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
		繰越し等	-8.5	8.5	0.0	0.0	—	
	計		117.1	8.5	29.6	22.4	32.4	
	執行額		88.6	8.49	26.9	—	—	
執行率 (%)		75.6%	99.9%	90.8%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	エコツーリズム推進法に基づく全体構想認定数		成果実績	件 (累計)	1	1	3	6 (25年度)
			達成度	%	33.3%	33.3%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	エコツーリズム推進協議会への指導		活動実績	地域	—	19	24	— (30)
	エコツーリズム大賞への応募		(当初見込み)	件数	68	63	65	— (70)
単位当たりコスト	当事業は、上記の定量的な指標のみで評価することは適当ではないことから、事業全体として適正なコスト算出をすることは困難。		算出根拠	—				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2	0.2					
	職員旅費	0.6	0.6					
	委員等旅費	0.5	0.5					
	環境保全調査費	21.1	21.3					
	政府開発援助環境保全調査費	—	9.8					
	—	—	—					
	—	—	—					
計	22.4	32.4						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	エコツーリズムの普及・定着のため24地域協議会等への技術的な助言や指導等を行えた。 エコツーリズムについては、民間事業ベースで実施するには地域の協議会の財政基盤が脆弱であることから国による後押しが必要。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	エコツーリズム推進事業支援業務を実施するために必要な能力を有する者を選定。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	エコツーリズムの推進体制の強化が図られ、全体構想策定数が増加した。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	過去の行政事業レビューを踏まえ、エコツーリズムの推進に必要な事業に絞り込んだ上で実施することで、エコツーリズム推進全体構想策定に向けた機運が全国的に高まってきている。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	167	平成23年	161	平成24年	169

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
26.9百万円

①エコツアーリズム推進法施行業務

【少額随契】

A. 公益法人等(4者)
3.66百万円

エコツアーリズムホームページの運用、エコツアーリズム大賞、先進事例のDVD作成等

【総合評価入札】

B. 特定非営利活動法人日本エコツアーリズム協会
4.99百万円

エコツアーリズム調査・分析事業関連業務

②エコツアーリズム推進モデル事業

【総合評価入札】

C. (公財)日本交通公社
7.46百万円

エコツアーリズムとグリーンツーリズムの融合による地域活

【総合評価入札】

D. 民間会社等(2者)
3.52百万円

エコツアーリズム推進モデル事業

【少額随契】

E. 特定非営利活動法人日本エコツアーリズム協会
0.87百万円

エコツアーリズム推進モデル事業

【総合評価入札等】

F. 民間会社等(2者)
4百万円

エコツアーリズム推進モデル事業

【その他】

消耗品費、印刷製本費、通信運搬費
1.7百万円

職員旅費、委員等旅費
0.7百万円

JATA旅博2012出展料、リース備品利用料等

打合せ、ヒアリング等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会			F.(株)沖縄環境保全研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	延べ21人日	0.84			
直接費	WEB調査、郵送料、報告書印刷等	3.45			
一般管理費		0.46			
消費税		0.24			
計		4.99	計		3.02
C.(公財)日本交通公社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	のべ114人日(検討会、モニターツアー、 フォーラム、取りまとめほか)	4.23			
諸謝金	ガイドブック作成委託(養父)、アドバイザー 謝金(垂水)他	0.42			
旅費	養父 延べ12人回、垂水 延べ12人回	1.69			
印刷製本費	報告書15部、資料集100部、パンフレット(垂 水)15,000部	0.47			
賃金	のべ23人日	0.2			
会議費	会議茶菓子 他	0.03			
雑役務費	テープ起こし(養父)	0.01			
消耗品費	郵送料、印紙、文具、資料費ほか	0.04			
一般管理費		0.01			
消費税		0.36			
計		7.46	計		0
D.環境コンサルタント株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		2.02	計		0

本業務は請負契約であり成果物の
 対価として支払いを行うものである
 ため、精算報告書等の提出を要さな
 いが、国費の支出の透明性を図る
 ため任意で提出依頼を行ったところ
 回答を得ることができなかった。

本業務は請負契約であり成果物の
 対価として支払いを行うものである
 ため、精算報告書等の提出を要さな
 いが、国費の支出の透明性を図る
 ため任意で提出依頼を行ったところ
 回答を得ることができなかった。

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会	エコツーリズム大賞関連業務	0.99	随意契約 (少額)	—
2	(公財)日本交通公社	環境省エコツーリズムホームページの運用	0.94	随意契約 (少額)	—
3	株式会社エフエムさがみ	エコツーリズム先進事例のDVD作成における取材及び編集等業務	0.93	随意契約 (少額)	—
4	特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会	第4回世界エコツーリズム会議に関する業務	0.8	随意契約 (少額)	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会	エコツーリズム調査・分析事業関連業務	4.99	3	74%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本交通公社	エコツーリズムとグリーンツーリズムの融合による地域活性化推進事業関連業務	7.46	1	98%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	環境コンサルタント株式会社	エコツーリズム推進モデル事業(知床エコツーリズム総合推進業務)	2.02	2	57.4
2	公益財団法人知床財団	エコツーリズム推進モデル事業(知床五湖エコツーリズム推進事業ヒグマ等事故リスク対応マニュアルの作成)	1.5	1	99.4

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会	エコツーリズム推進モデル事業(伊勢志摩国立公園鳥羽地域の保全活用推進のための支援業務)	0.87	随意契約 (少額)	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)沖縄環境保全研究所	エコツーリズム推進モデル事業(平成24年度エコツーリズムモデル事業慶良間地域のエコツーリズム推進に係るモニタリング調査等業務)	3.02	3	98.8
2	あかげるまダイビング協会	エコツーリズム推進モデル事業(平成24年度エコツーリズム推進事業サンゴ保全活動推進支援業務)	0.98	随意契約 (少額)	—